

大阪損保革新懇 第23回総会

12・10(木)
PM6:30~
エルおおさか南ホール

コロナ禍後の日本社会と損保産業

記念講演

ポストコロナ社会を展望する
神戸女学院大学 教授

石川康宏さん

平和・民主・革新の日本をめざす全国の会
(全国革新懇) 代表世話人

いしかわ やすひろ さん(経済学)

1957年北海道札幌市生まれ

京都大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得

現在、神戸女学院大学文学部総合文化学科教授

マルクスの経済・社会理論を背景に、経済、政治、ジェンダー、

歴史「慰安婦」、原発・エネルギー問題などを論ずる

著書：

『マルクスのかじり方』(新日本出版社)

『若者よ、マルクスを読もう』(内田樹氏との共著、かもがわ出版)

『輝いてはたらいアタタへ』(ゼミ編著、冬弓舎)

『覇権なき世界を求めて』(新日本出版社)

『現代を探究する経済学』(新日本出版社) など。



エルおおさか南ホール

(大阪府立労働センター 南館5階)

大阪府中央区北浜東3-14

地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m

参加協力費1000円

[基調報告]

損害保険産業は エッセンシャルワーク

大阪損保革新懇世話人(三井住友海上勤務)

小畑由紀子さん



大阪損保革新懇

大阪府中央区道修町3-3-10 日宝道修町ビル3階 電話：06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://osakasompo.perma.jp/>

<石川康宏さんからのメッセージ>

コロナ・ショックは数十年來の新自由主義的政策の弱点を明らかにし、加えて人類社会の存続や命と健康の平等など「人の尊厳」にかかわるさまざまな課題をあぶり出しています。

アメリカ発の新自由主義政策は、経済の金融化を軸とした大資本によるもうけの自由の拡大、医療・福祉・教育など公共領域の縮小とサービス産業化、人間生活における「自己責任」の徹底などを進めました。

それが今日、「所得の格差に応じた命の格差」と備えなき医療の逼迫(ひっばく)による大量の感染死を、経済大国を自負する欧米に広める主因となりました。

同時に、多くの人々が「個人の尊厳」が守られる社会への渴望を深めていることは重要です。

黒人のジョージ・フロイド氏が白人警官に命を奪われた事件は、強い抗議を世界中に巻き起こしました。怒りは、抗議の声を敵視したトランプ政権や、黒人差別の社会的な構造、ヨーロッパ諸国による植民地支配や奴隷貿易の歴史にまで及びました。

経済格差だけでなく、人種差別、ジェンダー格差、LGBTへの差別などさまざまな格差と差別が問い返されています。コロナ対策の必要は南北格差の是正も、人類社会の共同課題としていくでしょう。

ポスト・コロナ社会は時がたてば自然にやってくるものではありません。コロナと効果的にたたかえる社会をめざす努力の先に、初めて見えてくるものです。

毎日の生活の中で、必要とされる支援や工夫はどういうものか。それを職場で、地域で、SNSで市民自身が話し合い、周辺の政治家や政府に届けるボトムアップの取り組みが必要です。日本でも世界でも、新しい社会づくりをめざす強い意欲が求められています。

大阪損保革新懇の三つの座標軸

- ① 損保は「平和産業」である
- ② 損保は国民生活に密着した「セーフティネット産業」である
- ③ 損保は「生きがい・働きがい産業」である

大阪損保革新懇

大阪府中央区道修町3-3-10 日宝道修町ビル3階 電話：06-6232-1095

e-mail: ossnpksk@gmail.com HomePage: <http://osakasompo.perma.jp/>